



東北大学

平成20年12月25日

県政記者会報道機関各社 御中

東 北 大 学

## 平成21年度東北大学新規予算（内示）について

平成21年度における東北大学新規予算（内示）の主要事項について、お知らせいたします。

### （東北大学新規予算（内示）主要事項）

- **医・歯・薬・工学連携による分子イメージング人材育成プログラムの開発**  
研究科融合的人材を養成するために、医学、歯学、薬学、工学にまたがる広範囲な知識を有し、それらを融合させた新たな知の創造・実践を担う人材の育成を行う。  
〔担当〕 医学系研究科医科学専攻教授 谷内一彦 電話：022-717-8055
- **学部・修士学生のスタディ・アブロード推進事業  
—大学・大学院教育カリキュラムの再構築—**  
学部・修士学生教育において、6年一貫教育を視野に入れつつ統合的スタディ・アブロードプログラムを構築し、教育の国際化を推進する。  
〔担当〕 国際交流部留学生課課長補佐 板垣 毅 電話：022-795-7684
- **超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究**  
超高層大気変動メカニズムの総合的解明を実現するため、データの観測場所・日時、意味、観測装置の特性など、データ特質を要約する情報を抽出し、これを広く国内外の関連研究者が共有できるシステムを構築する。  
〔担当〕 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター准教授 熊本篤志  
電話：022-795-6516
- **QOL向上を目指した難治性角膜疾患に対する再生治療法の体系的技術の開発**  
角膜全層の再生に関する基礎的研究成果に裏付けられた新しい再生医療技術を体系的に追求し、その成果を臨床応用で実施することにより、角膜疾患のため失明状態に陥っている患者の視力を永続的に回復させることを目指す。  
〔担当〕 病院総務課長 高橋正幸 電話：022-717-7003
- **加齢医学総合戦略研究拠点の形成**  
エイジング研究を、単に「老化」の研究に留まらずに、健康な子どもの発達研究もエイジングの重要な側面として考え、発達と老化の両面から研究を推進する。これらの研究成果に基づいて、心身の加齢による低下を抑制し健康寿命を延ばすシステムや子どもの脳を健やかに発達させるシステムを創生し、持続可能高度成熟型社会システムを構築する。  
〔担当〕 加齢医学研究所教授 川島隆太 電話：022-717-7988

○ **新原子力利用研究分野の開拓**

原子燃料サイクルで排出される高レベル放射性廃棄物を低減するため、放射性廃棄物の有効利用を目指した「新原子力利用技術」の研究分野を開拓する。

〔担当〕 六ヶ所村センター検討委員会副委員長 石井慶造 電話：022-795-7791

○ **医学部医学科の入学定員の改訂**

医学部入学定員を増員し、宮城県と連携した地域医療を担う医師を養成するためのプログラムを策定・実施する。

〔担当〕 医学系研究科医学科長 柴原茂樹 電話：022-717-8113

**【本件全体に関する問合せ先】**

東北大学財務部財務課主計第一係

電話 022-217-4882、4875